

気配り・・・・・・・・ホスピタリティ=もてなしの心  
何かお手伝いしましょうか (May I help you?=店員さんの言葉)

「1、2、3」を続けると心の元気がでてきます。

そうするといろいろな気づきが出てきたり、たとえ行動に移せなくても  
周りの人への気配りも出てきます。

実行をあせることはないと思います。

「1、2、3」を続けていたら実行する勇気も出てきます。

気配りされれば、たいていの人は喜びます。

感謝をしてくれることもあります。

たまには「すべる」こともあります。そんな時、腹を立てないでください。

腹が立つようだとかマダマダ未熟だと考えて「1、2、3」に精を出してください。  
い。そのような時が「一番真剣な行」ができます。

そしてその調子で「1、2、3」を続けてください。

さらに成長できます。

「明るい明日」が見えてきます。

じつは今の世の中「気配り」のできる人が少ないです。

みなさん自分の生活で精一杯です。

あなたが「気配りできる人」になって和（なご）ませてあげてください。

私はそのようにできる人を世の中の「潤滑油」だと考えるようにしています。

決して目立ちませんが、たいへん貴重な存在です。